

中村さんが1.5キロ級のヒラメをキャッチ



中村さんは合計3本のイネゴチを釣り上げた



釣れるマトウダイは真逆の釣り方



30センチ級のカサゴも上がった



風間さんも1.5キロ級のヒラメをゲット

仲間と仕立船で沖釣りホリデー!

ツリトモさん 釣友 いらっしゃい!

Charter boat fishing to enjoy with friends.

vol. 3 FUKADAMASAOMARU

●撮影・文 / 古河好夫



第3回のツリトモ

●取材でお邪魔させていただいたのは、埼玉県戸田市の中村成臣さんが会長を務める「爆釣会」。釣り物は泳がせ五目です。

三浦半島佐島港 深田正夫丸の泳がせ五目

何ができるか分からない 佐島沖の泳がせ五目は 楽しさいっぱい

ヒラメのアベレージは1.5キロ級



今回の「ツリトモさん いらっしゃい」は埼玉県戸田市の中村成臣さんが会長を務める「爆釣会」が泳がせ五目で仕立てた三浦半島佐島港の深田正夫丸にお邪魔させていただいた。釣行日は5月25日。釣り人は中村さんと埼玉県加須市の風間洋人さんで、今回はライトタックルでヒラメを中心に根魚なども狙うとのこと。

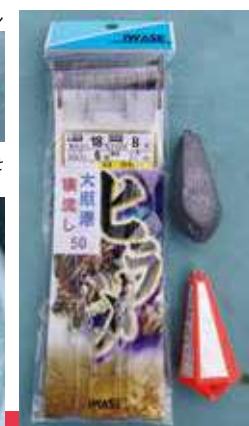
辞儀をするがなかなか食い込まない。やがてアタリは消えてしまい、エサのイワシはチエックするとポロポロにされていた。



▼エサは10～12センチほどのマイワシ



▼エサのイワシはイクスから海水循環させたバケツに1～2匹ほど移して使う



▲オモリは50gを準備

▼釣れた魚は素早く神経絞りにしていた



しくお客さんに寄り

おそらくソゲ（ヒラメ）の仕業だろう。次にアタリが出たのは中村さん、見事合わせが決まり巻き上げに入る。ややあつて取り込まれたのは50センチ級のイネゴチ。中村さんははていねいに神経絞めを施す。

ここで中村さんに深田正夫丸の魅力についてたずねてみた。深田正夫丸を利用するようになったのは1年ほど前からで、月に3～4回乗ってます。釣り物は今日のような泳がせ五目やマダイ、カワハギなど季節に応じた楽しんでます。ここは船長が優しくお客さんに寄り



▲朝イチ、中村さんにヒット!

ツリジョーさん いっしょに釣ろう!

from Captain

6月中旬以降は泳がせ五目やアジ五目、カサゴなどがおすすめです。カツオやキハダが始まればもちろん受け付けます。ぜひ一度遊びにきてください。



車は船長の指示に従って港内の駐車スペースに停める

料金プラン

■平日=3名まで3万3000円。1名増えるごとに9000円。土日祝日=6名まで5万4000円。1名増えるごとに9000円。イワシエサの泳がせ釣り、カツオ、マグロなどは料金の変動あり。リレー釣りも可。下船後に船着き場にて精算。

利用ガイド

【予約方法】
電話にて人数、希望の釣り物などを伝えて日程を確保

【出船時間】
6時より出船可能。釣り時間は出船から沖揚がりまで最大7時間

【エサ、氷、仕掛けなど】
氷付き。エサ、仕掛けは別料金

【レンタルタックル】
手巻きリールのセット無料、電動リールのセットは1000円(紛失した場合は有償)

【集合場所】
船着き場に集合。車は船長の指示に従って港内の駐車スペースに停める

【備考】
2隻体制で出船

【船宿アクセス】
横浜横須賀道路・横須賀IC下車。県道213号を経由して佐島港へ



レンタルタックルを利用したい場合は予約時に申し出てください



▲高橋正巳船長



▲高橋正也船長



▲2隻体制で出船。いずれの船も最大14名で10名までが釣りやすいと正巳船長



三浦半島佐島港 深田正夫丸

FUKADAMASAOMARU
*Sajima port, Miura Peninsula
☎046-897-4410 ☎090-8940-2690
(詳細は巻末の情報欄参照)

三浦半島佐島港の深田正夫丸は、現役の漁師でもある船長が2隻体制で相模湾の多彩な釣り物を楽しませる船宿。舵を握る高橋正巳&甥の高橋正也船長は優しい人柄でアットホームな雰囲気。心地よく、リピートしたくなること請け合いです。土日祝日も6名より受け付けていて、レンタルタックルも充実。リレー釣りも可能なので一度で2倍おいしい思いをしたい人は船長に相談してみるといいだろう。

釣り物	釣期	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
アジ五目													
泳がせ五目													
カサゴ													
カツオ													
キハダ													
マルイカ													
イナダ、ワラサ													
マダイ													
カワハギ													
メバル													
メダイ													



これはうれしー！オオモンタ



風間さんはリレーサイズをキャッチ＆リリース



中村さんが釣り上げた2枚目のヒラメ



沖揚がり直前に大きなマトウダイも上がった



なんとマルイカまで釣れた

タモ入れが決まり、思わず「ヨッシャー」



風間さんのゲームロッドが大きく絞り込まれた

添って頑張ってくれるところがいいですね。仲間を連れてくると皆気に入ってくれます」と言っていてニコリ。

後半戦にはなんとマルイカも泳がせ五目、アジ五目、カサゴ、カツオ&キハダ

後半戦に入ってもアタリは途切れずヒラメやマトウダイ、イネゴチが顔を見せる。

そんなとき風間さんが、「なんか変なアタリなんですよ。オモリを持ち上げられるような……」と言ってリールを巻き上げると、そこに掛かっていたのはなんとマルイカ。孫バリのトリプルフックがゲンにしっかりと掛かっている。これには釣った本人も大笑い。

「今晚イカ刺しでいただきます。今日はアタリが多くて最高に楽しかったです」と風間さん。最後に大きなマトウダイとイネゴチが上がったところで沖揚がりの時間を迎えた。

さて、6月中旬以降の深田正夫丸のおすすめですが、まずは今回取材した泳がせ五目。ターゲットはヒラメやマゴチ、イネゴチ、マトウダイ、カサゴ、ハタ類など。エサになる生きイワシの入荷があるかぎり可能で、例年なら8月中旬まで楽しめるかと高橋正巳船長。

秋谷く城ヶ島沖の水深40〜100メートル前後を探るアジ五目も面白くなる時期で、30〜40センチ級の良型主体にサバやイサキなども交じり今後も期待度◎。

港からすぐの佐島沖の水深20

30メートルではカサゴの数釣りのチャンス。20〜25センチ級が中心に日により30センチ級が上がることも。ライトなタックルで簡単に楽しめるのでビギナーにもおすすめです。

6月以降、相模湾にカツオやキハダの群れが回遊すればもちろん出船する。同船のカツオは一本釣り、フカセ釣り、ルアー釣りも受け付けていて、一本釣りは貸し道具も完備している。キハダは7月一杯までフカセ釣りやルアーで狙い、8月からはコマセ釣りも受け付ける。昨年は20〜30キロオーバーが船中5〜6本なんていう日もあったそうだから今年も期待したい。

高橋正巳&高橋正也船長は物腰が柔らかく実に面倒見のよい人柄。仲間はもちろん家族やビギナー連れの釣行にもおすすめしたい船宿だ。

